

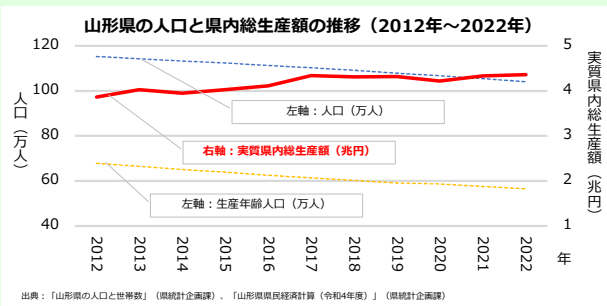
令和8年度 県政運営の基本的考え方（案）

第4次山形県
総合発展計画の
基本目標

人と自然がいきいきと調和し、真の豊かさで幸せを実感できる山形

本県を取り巻く情勢

- ・ 少子高齢化を伴う人口減少の加速（本県人口100万人割れ）
若者・女性の県外転出
- ・ 人口減少下においても、実質県内総生産額や一人当たり県民所得は増加
- ・ 行政も含め、あらゆる分野における人手不足の深刻化
- ・ 地方移住への関心の高まり、多様な働き方・暮らし方の拡大
- ・ 関係人口、交流人口の拡大
- ・ 物価高騰の長期化、賃上げの動きの拡大
- ・ デジタル化の加速、生成AI等の新技術の急速な普及
- ・ 気候変動の加速、自然災害の頻発・激甚化



政府の政策動向

「経済財政運営と改革の基本方針2025」 ～「今日より明日はよくなる」と実感できる社会へ～

<主な政策の方向性>

- ・ 物価上昇を上回る賃上げの普及・定着
- ・ 地方創生2.0の推進
- ・ 農林水産業の構造転換による成長産業化及び食料安全保障の確保
- ・ 海外活力の取り込み（貿易・投資の拡大等）
- ・ 防災・減災、国土強靱化の推進
- ・ 「誰一人取り残されない社会」の実現（女性・高齢者の活躍等）
- ・ 外国人との秩序ある共生社会の実現 など

「地方創生2.0基本構想」

～「強い」経済、「豊かな」生活環境、「新しい日本・楽しい日本」～

<地方創生の現状認識>

- ・ 人口減少を受け止めた上での対応が必要
- ・ 国・地方公共団体の相互の役割の再検討が必要

<政策の5本柱>

- ・ 安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生
- ・ 稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生
～地方イノベーション創生構想～
- ・ 人や企業の地方分散
～産官学の地方移転、都市と地方の交流等による創生～
- ・ 新時代のインフラ整備とAI・デジタルなどの新技術の徹底活用
- ・ 広域リージョン連携

今後の施策展開の方向性

基本的な考え方

- 第4次山形県総合発展計画後期実施計画では、**人口減少のスピードの緩和と人口減少に対応できる県づくり**を最重要課題として推進
 - 加えて、県内各層や県民等の議論^{*1}を踏まえ、**重点化の方向性を整理**
 - **県民のウェルビーイング^{*2}の向上**
県民が将来に明るい希望を持って、快適に楽しく住み続けることのできる県づくりを推進
恵まれた自然環境や優れた食文化など、本県ならではの豊かさを活かし、デジタルも活用しながら、暮らしの質をさらに高めていくとともに、性別や年齢等にかかわらず、誰もが自分の能力や可能性を発揮して、いきいきと活躍できる環境を整備していくことで、県民の幸福度の向上を目指す。
*1 総合政策審議会、やまがた未来共創会議、『県民まんなか』みらい共創カフェ 等
*2 心や身体が健康で、社会的・経済的に満たされている状態
 - **県内経済の持続的な成長**
社会経済情勢の変化をチャンスと捉え、生産性の向上や付加価値の増大を推進
本県の産業に蓄積されてきた知識・技術や、高いポテンシャルを有する環境資産等の「地域資源」と、外部の人材・資本等の「国内外の活力」の掛け合わせによる高付加価値な製品・サービス創出の促進や、AI・デジタルの徹底活用による業務の効率化・高度化に取り組み、県民所得の向上を目指す。
 - **安全・安心な地域づくり**
災害の頻発・激甚化や地域の担い手減少等を踏まえ、**県民の安全・安心を確保するための取組み**を充実
地域の拠点機能の維持や医療提供体制の整備など、将来も見据えた県民の生活環境の維持・向上を進めるとともに、AI・デジタルも活用した防災対策や気候変動対策の強化などにより、県民が安心して暮らせる地域を目指す。
- ⇒ これらにより地域に賑わいを創出し、魅力を高めることで、
若者・女性をはじめ、多様な人材を惹きつけ、**持続可能なやまがた**を実現していく。

※ 人手不足の深刻化を踏まえ、**市町村との連携強化や民間活用など**による行政機能の維持・確保を進めていく併せて、県財政の厳しさを踏まえて、行政事務の**業務量の縮減や、組織・業務の効率化**を推進していく

重点化の方向性

1 県民のウェルビーイングの向上に向けた取組みの推進

- 地域の次代を担う子どもの教育環境の充実、地域に愛着を持ち、将来も地域に貢献できる人材の育成
- 若者・女性が暮らしやすい地域づくりに向けた、無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消
- 多様な働き方の導入・拡大やキャリア支援、志向に応じた就業の場の拡大等による若者・女性の活躍の推進
- 出会い支援の強化や子育て世帯の経済的負担の軽減等による、結婚から妊娠・出産、子育てまで切れ目のない支援の充実
- 障がい者や高齢者などの多様な社会参加・就労の促進、健康寿命延伸に向けた取組みの推進
- 外国人やその子どもが安心して暮らせる生活・教育環境の整備、多様なコミュニティの創出など、地域における多文化共生の推進
- 県民生活に楽しみや交流拡大をもたらす文化芸術・スポーツの振興
- デジタル技術の活用による交通・医療等の生活必需サービスの維持・向上
- 鉄道や航空、高規格道路など、利便性の高い広域交通ネットワークの充実にに向けた取組みの強化

2 県内経済の持続的な成長に向けた取組みの推進

- 産学官金の連携による地域の産業を支える人材育成の促進、スタートアップ企業の創出
- 県内企業が行う賃上げや働き方改革の取組みの後押しなど、様々な主体が取り組む人手不足・人材確保対策への支援
- 留学生や産業界で活躍する人材など、外国人材の受入れの拡大・定着の促進
- 「ふるさと住民登録制度」等を活用した関係人口の創出・拡大
- AI・デジタルを活用した幅広い産業の生産性向上、地域内外の様々な関係者の連携・協働によるイノベーション創出の促進
- 多様な地域資源を生かした観光・インバウンドの受入れ拡大に向けた観光地の高付加価値化の推進
- スマート技術の普及・開発等による農林水産業の成長産業化に向けた取組みの推進
- 県産品や県産農産物のブランド力の向上、海外展開や国内外への販路拡大等の推進
- 洋上風力発電等の再生可能エネルギーの導入拡大をはじめとする、脱炭素に向けた取組みの推進

3 安全・安心な地域づくりに向けた取組みの推進

- 地域の暮らしや生活サービス拠点の維持・確保、地域コミュニティの維持・活性化
- 持続可能な医療提供体制の確保に向けた地域医療構想の推進、福祉・介護提供体制の確保
- 流域治水対策や地域防災力の向上、インフラの長寿命化対策など、ハード・ソフト両面からの災害対策の強化
- 異常気象等から県民の命や暮らしを守る取組みの強化、鳥獣被害対策をはじめ自然環境の変化への的確な対応・対策の推進
- 市町村との連携強化やデジタル等の新たな技術の導入など、インフラ管理の省力化・効率化の推進
- 鉄道や航空、高規格道路など、利便性の高い広域交通ネットワークの充実にに向けた取組みの強化（再掲）